


平成25年度 広島市立己斐上中学校 学校評価 年間 成果と課題

目 標	評価指標	アンケート	アンケート結果の集計					評価	アンケート結果のグラフについて			成果と課題
			①	②	③+④	⑤	⑥		評	%	90%	
中期経営重点目標 ① 誰にでもわかりやすい授業づくりをめざす ② 生徒が自己肯定感を持ち、安心できる学校づくりをめざす ③ 保護者、地域に学校理解のための積極的な情報発信を行う。	各教科の関心・意欲・態度と知識・理解の観点別評価のAとB評価の生徒の割合を80%以上にする		アンケート結果をA～Dで表したものです。 ① よくできた ② できた ③ あまりできなかった ④ できなかった					A B C D	アンケート結果の数値をグラフで表しています。 評価について 評価はアンケート結果の数値を基に【A:80%以上、B:70%以上、C:50%以上、D】を基準に判定し、評価を大きい文字のA～Dで表しています。(数値はアンケート結果のAにBを加えた値で判定しています。)			
			①	②	③+④	⑤	⑥		評	%	90%	
短期経営重点目標 (1年目)	見通しを持って授業にのめり、振り返りや振り返りシートを記入し、安心できる学校づくりをめざす	教員	授業の始めに「本時のめあて」を黒板に書き出し、生徒に確認できていますか。	751	241	100.0%	0%	0%	0.0%	A		毎朝「めあて」を黒板に書き出し、教員も手帳に記入し、授業中に確認すると同時に、生徒にもしっかり見通しを持って授業に取り組んでいくことができ、おまけに主体的に学習に取り組むやむやないでいると実感。また、黒板を自分で消すことも、授業の進め方について行ってきた。教員の授業に「めあて」が反映されている。
			生徒	授業の始めに「本時のめあて」が確認できていますか。	821	141	96.1%	3%	1%	3.9%	A	
		保護者	「書く力」ついたり感じる生徒の割合(80%以上を目指す)	651	221	87.2%	9%	4%	12.8%	A		◎成果 「書く力」の育成について、教員が様々な場面で相手の「書く力」を育てる活動を実践している評価が出ている。また、生徒の「自分の考えや意見を授業や評価表、生活ノートなどに書いてみる」の習慣が定着し、自分の考えや意見を授業や評価表、生活ノートのなかに書いてみる習慣が定着している。 ◎課題 自分思いを文章にすることは低学年に比べて、高学年になると難しくなっている。これは、自分の考えを論理的に表現できる力を育てることを目的に、指導方法を工夫改善していく。そのために「書く力」を育てる活動や評価表の活用をさらに進めたい。また、学習の場面に言語活動をとり入れるなど、効果的な授業や活動が定着するよう指導を継続していく。
	1日1時間以上家庭学習をする生徒の割合(80%以上を目指す)	教員	生徒へ家庭学習について、教科・学級で指導していますか。また、現状状況を教科・担任と連携して確認していますか。	531	351	88.2%	0%	12%	11.8%	A		◎成果 家庭学習の習慣が身に付いている生徒の割合は、前期と比較し、約9%上昇し、評価もC評価からB評価に変わった。保護者についても、約8%上昇していることから、学習習慣が身に付きつつある生徒は着実に増えている。 また、教員についても、学習状況や進捗状況などについて把握し、家庭学習の習慣化について、教科・学級指導の中で取り組むことができている。 ◎課題 1日1時間以上の家庭学習の習慣が身に付いている生徒は、目標とする80%を越えることではなかった。学力定着には家庭学習の習慣が不可欠であることから、家庭学習の重要性や重要性の重要性を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。
			生徒	家庭学習(教科、家庭教師等も含む)週間は1日1時間以上身につけていますか。	411	221	66.7%	22%	11%	33.3%	C	
		保護者	お子様は家庭学習の習慣が身につけていると思いますか。	241	401	63.4%	27%	10%	36.6%	C		◎成果 家庭学習の習慣が身に付いている生徒の割合は、前期と比較し、約9%上昇し、評価もC評価からB評価に変わった。保護者についても、約8%上昇していることから、学習習慣が身に付きつつある生徒は着実に増えている。 また、教員についても、学習状況や進捗状況などについて把握し、家庭学習の習慣化について、教科・学級指導の中で取り組むことができている。 ◎課題 1日1時間以上の家庭学習の習慣が身に付いている生徒は、目標とする80%を越えることではなかった。学力定着には家庭学習の習慣が不可欠であることから、家庭学習の重要性や重要性の重要性を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。
	「書く力」ついたり感じる生徒の割合(80%以上を目指す)	教員	授業やその他の場面で相手の話を聞いて話を発表できるように指導していますか。	471	351	82.4%	14%	0%	17.6%	A		他の人の話や発表に顔を向けて聴こうとしていると答えた生徒の割合は96.5%と、前期と比べてほぼ100%に近づいた。学力定着には家庭学習の習慣が不可欠であることから、家庭学習の重要性や重要性の重要性を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。
			生徒	話や発表を聴くとき、相手の話を聞いてしっかりと聞かれていますか。	801	171	96.5%	3%	0%	3.5%	A	
		保護者	お子様は家族の人の話をしっかりと聞いていますか。	311	491	80.2%	14%	2%	19.8%	A		他の人の話や発表に顔を向けて聴こうとしていると答えた生徒の割合と比較すると、家族の話をしっかりと聞いていると答えている保護者の割合は前年より15%上昇している。また、身内以外の人に対しては、家族の話を授業以上に真剣に聴こうという気持が強いという面が顕著である。
	共通学習やグループ討議時やグループ討議時に他の人の話を聞いて、それに対して自分の意見を表現できた割合(80%以上を目指す)	教員	グループ討議や共通学習などで、話をしっかりと聞き、自分の意見を発表できる工夫や場面を設定していますか。	411	411	82.4%	14%	0%	17.6%	A		他の人の話や発表に顔を向けて聴こうとしていると答えた生徒の割合は96.5%と、前期と比べてほぼ100%に近づいた。学力定着には家庭学習の習慣が不可欠であることから、家庭学習の重要性や重要性の重要性を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。
			生徒	班やグループ活動の時、相手の話を聞いてから、自分の意見をしっかり発表していますか。	741	211	95.2%	4%	1%	4.8%	A	
		保護者	お子様は家庭では自分の気持ちや考えを話すこと(場面)がありますか。	651	441	90.1%	9%	1%	9.9%	A		他の人の話や発表に顔を向けて聴こうとしていると答えた生徒の割合は96.5%と、前期と比べてほぼ100%に近づいた。学力定着には家庭学習の習慣が不可欠であることから、家庭学習の重要性や重要性の重要性を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。
自尊心を育み、生徒同士の良い人間関係づくりや連帯感のある学校づくりを行う	教員	学級活動や行事等の場面をとらえて、班や友だちと協力体制が取りやすい工夫をしていますか。	531	351	88.2%	12%	0%	11.8%	A		◎成果 前期の数値をさらに3.3ポイント上げ、前期同様「できた」と答えた生徒がなかったことは年間を通して大きな成果といえる。また、教員も「協力体制が取りやすい工夫」を継続して行ってきた成果と考える。	
		生徒	学級活動や行事等に参加するとき、クラスの友だちと協力できていますか。	841	121	96.8%	3%	0%	3.2%	A		◎成果 前期の数値をさらに3.3ポイント上げ、前期同様「できた」と答えた生徒がなかったことは年間を通して大きな成果といえる。また、教員も「協力体制が取りやすい工夫」を継続して行ってきた成果と考える。
	保護者	お子様は家庭内で掃除など家の手伝いをしていますか。	291	301	58.8%	37%	5%	41.2%	C		◎成果 前期の数値をさらに3.3ポイント上げ、前期同様「できた」と答えた生徒がなかったことは年間を通して大きな成果といえる。また、教員も「協力体制が取りやすい工夫」を継続して行ってきた成果と考える。	